

Saga Medical and Welfare Center for the Challenged

佐賀整肢学園こども発達医療センター総合案内

時代の要請を的確に把握し、総合力を高めて
医療・福祉サービスの提供に先進的かつ積極的に取り組む



社会福祉法人 佐賀整肢学園

佐賀整肢学園こども発達医療センター

Saga Medical and Welfare Center for the challenged

Contents

佐賀整肢学園こども発達医療センターについて・・・	01	総合相談室	07
ごあいさつ	01	年間行事について	08
沿革 ・ 関連施設	02	エリアマップ(施設内案内)	09
病院事業・診療科目のご案内	03		
福祉事業・施設のご案内 短期・日中一時支援 ..	05		

佐賀整肢学園こども発達医療センターについて

保険医療機関佐賀整肢学園こども発達医療センターは医療と福祉サービスを提供する190床の医療機関です。利用者に応じた医療サービスおよび発達支援・自立支援、生活の質の向上のための福祉サービスを提供しています。

充実した医療福祉の拠点として地域の皆様を支える事業を推進してまいります。

当センターは児童福祉法に基づく児童福祉施設であり、医療・福祉・教育を総合的に受けられる療育施設です。

ごあいさつ

1960年(昭和35年)に肢体不自由児(手足に障害のあるこども達)を医療と福祉の両面から支え、隣接の養護学校(現在の特別支援学校)と連携して、18歳までお世話する佐賀県唯一の入所施設として誕生しました。現在では肢体不自由児だけでなく、重度の重複障害である重症心身障害児と者(重度の肢体不自由と重度の知的障害を合わせ持つ方々)、超重症児と者(更に医療的ケアを常に必要とする方々)、それから発達障害を含めて多くの方々に利用される障害児者施設となっています。利用される方々の障害の種類と程度、年齢はさまざまですから、それに合わせて色々な部門を立ち上げて対応できるように、この55年間で、こども発達医療センターは変化を遂げてきました。それをさまざまな職種のスタッフ総勢400人規模でお世話しています。部門は大きく分けると、ひとつには入所部門としての医療型障害児入所施設と成人が利用する療養介護施設また一般入院可能な病院機能があります。他方、在宅の障害児・者に対応する部門として病院外来 機能と通所部門やレスパイトを含めた短期入所、学童保育にあたる放課後等デイサービスなどがあります。更に、福祉の相談窓口として総合相談室を設けています。また、高校から大学・専門学校の学生実習を幅広く引き受け、障害に理解のある次世代の医療・福祉専門職に育ててもらえるように努めています。

佐賀整肢学園こども発達医療センター
センター長 窪田 秀明

SAGA SEISHI GAKUEN



Since 1960

社会福祉法人

佐賀整肢学園

人を支える 生活を支える

社会福祉法人佐賀整肢学園シンボルマークについて

ハート型は自身・利用者やその家族・社会・医療・福祉などを表しています。ハートの上に“S”が2つ交錯しているのは、佐賀整肢学園(Saga Seishi gakuen)がそれらのハートを結びつけているという意味を込めています。

「希望」「誠実」「愛情」「幸運」を象徴するクローバーがモチーフです。



History

佐賀整肢学園こども発達医療センターの道程 ～沿革～

- 昭和35年 4月 肢体不自由児施設佐賀整肢学園設立 定員30名
- 昭和36年 4月 天皇・皇后陛下行幸啓
- 昭和36年 9月 <定員変更>一般病棟増築 定員80名
- 昭和37年 6月 高松宮殿下ご夫妻お成り
- 昭和38年 1月 <定員変更>肢体不自由児施設母子入園棟新築 定員100名
- 昭和39年 12月 <定員変更>肢体不自由児施設重度病棟新築 定員120名
- 昭和43年 4月 <定員変更>肢体不自由児施設重度病棟増築 定員150名
- 昭和51年 10月 秩父宮妃殿下お成り
- 昭和54年 4月 肢体不自由児施設管理棟・重度棟改築
- 昭和55年 4月 肢体不自由児施設軽度棟・母子棟・訓練棟改築
- 昭和56年 4月 <名称変更・定員変更>肢体不自由児施設佐賀第一療育センターに改名
定員100名
重症心身障害児施設佐賀第二療育センター設置認可 定員40名
- 平成元年 4月 肢体不自由児施設通園部ひよこ教室新設 定員30名
- 平成元年 7月 <名称変更>肢体不自由児施設佐賀整肢学園ひまわり園 定員100名
<名称変更>肢体不自由児施設佐賀整肢学園ひよこ教室 定員30名
<名称変更>重症心身障害児施設佐賀整肢学園たんぼぼ園 定員50名
- 平成3年 4月 <定員変更>肢体不自由児施設佐賀整肢学園ひまわり園 定員70名
<定員変更>重症心身障害児施設増築 定員80名
- 平成8年 7月 秋篠宮ご夫妻お成り
- 平成9年 5月 <名称変更>肢体不自由児施設(入園部) 定員70名
<名称変更>肢体不自由児施設(通園) 定員30名
<名称変更>重症心身障害児施設 定員90名
- 平成10年 1月 重症心身障害児(者)通園事業運営開始 定員15名
- 平成12年 4月 指定居宅介護支援事業・指定訪問看護事業
指定訪問リハビリテーション事業運営開始
- 平成14年 10月 <名称変更>重症心身障害児(者)通園事業
佐賀整肢学園こども発達医療センターわたぼうし
- 平成16年 4月 <定員変更>肢体不自由児施設 定員40名
- 平成17年 9月 病床増床160床⇒170床
- 平成18年 10月 指定居宅介護等事業、指定相談支援事業、指定訪問介護事業
指定介護予防訪問介護事業運営開始
指定短期入所事業、日中一時支援事業運営開始
- 平成22年 4月 <定員変更>肢体不自由児施設 定員20名
<定員変更>重症心身障害児施設 定員140名
- 平成24年 4月 医療型障害児入所施設運営開始 定員160名
療養介護事業所運営開始 定員160名
児童発達支援センター運営開始 定員15名
生活介護事業運営開始 通所定員15名
特定・障害児相談支援事業運営開始
保育所等訪問支援事業運営開始
- 平成24年 6月 指定訪問リハビリテーション事業運営開始
- 平成25年 6月 病床増床170床→180床
併設型短期入所事業運営開始10床
佐賀整肢学園こども発達医療センターひまわり園 定員10名
- 平成27年 3月 厨房棟の建築(改築)



昭和35年当初の佐賀整肢学園

関連施設

当センターは約60年の歴史を誇る佐賀整肢学園として複数の関連施設をもち、それぞれと連携を図りながらサービスの向上に努めています。



オークス

佐賀県佐賀市金立町金立168-1

障害者支援施設 施設入所支援・生活介護 短期入所 日中一時支援
在宅サポートセンター
生活介護 地域密着型通所介護 地域活動支援センター
就労継続支援B型 就労移行支援 放課後等デイサービス
特定・障害児相談支援 居宅介護支援 福祉ホームきらり



かんぎき清流苑

佐賀県神埼市神埼町鶴2927-2

特別養護老人ホーム 通所介護 居宅介護支援事業
短期入所生活介護事業 認知症高齢者共同生活介護事業
在宅サポートセンター



からつ医療福祉センター

佐賀県唐津市双水2806

療養介護事業所・医療型障害児入所施設 短期入所 日中一時支援
児童発達支援センター 放課後等デイサービス事業 障害者支援施設
特定・障害児相談支援事業 就労支援B型
整形外科 小児科 リハビリテーション科 歯科 泌尿器科



かんぎき日の隈寮

佐賀県神埼市神埼町城原2725-3

救護施設



佐賀向陽園

佐賀県佐賀市金立町金立801-1

養護老人ホーム



わいわい

佐賀県佐賀市金立町金立799
(佐賀向陽園隣)

介護保険・障害者福祉サービス提供事業所 通所介護事業所
居宅介護事業所・訪問介護事業所 訪問介護事業



糸島こどもとおとなのクリニック

福岡県糸島市志摩井田原63-1

小児科 整形外科 リハビリテーション課 児童精神科 歯科 短期入所



からつ医療福祉センター 好学舎

佐賀県唐津市双水2787-1

児童心理治療施設
(旧情緒障害児短期治療施設)



医療

すべての患者様に同じ治療を進めていくのではなく、その人にあつた的確な診断・治療方針などをわかりやすく説明し、患者様を支援します。障害のある様々の子供達それぞれに、最善の治療を提供していきます。

整形外科・小児外科

午前8時30分から午前11時00分 午後はすべて予約制です。

0952-98-2695

脳性麻痺などの障害児(者)に対する運動器の問題をはじめとして、小児を中心とした運動器疾患すべてに対しての整形外科的治療(保存的治療・装具適合・手術治療)をリハビリテーションと密接な連携をとりながら担当しています。入所中の利用者様に対しては常勤の小児科医師や歯科医師、非常勤の循環器医師や泌尿器科医師、耳鼻科医師と共に全身管理をおこない快適な生活ができるように努めています。

骨延長術

長期入所が可能な当センターの特長を活かし、半年から1年をかけて骨を作り出します。著しい低身長、何らかの理由で左右の四肢の長さにある指が一本だけ短いなどの疾患に対して骨延長器を装着して徐々に骨を伸ばす仮骨延長によるものです。



当センターでは上記、脳性麻痺をはじめ「軟骨無形成症」「二分脊椎」「脊椎側湾症」「先天性股関節脱臼」「ペルテス病」「先天性脛骨列欠損症」「先天性内反足」など小児整形外科だけでなく、地域の方々を対象とした一般整形外科にも対応しています。

身体障害者診断書、意見書、年金診断書、特別児童扶養手当診断書の作成、補装具意見書作成をおこなっています。ご希望の方はご予約を取り、受診をおこなってください。

小児科・児童精神科

一般外来(8:30~11:00)以外はすべて予約制です。

0952-98-3214

小児科・児童精神科では主に【神経発達外来】【アレルギー外来】【内分泌外来】【健診・予防接種外来】【一般外来】に分けて診療を行っています。

神経発達外来

発達や発育のおくれ、言葉のおくれ、自閉スペクトラム症(ASD)注意欠如多動症(AD/HD)、限局性学習症(LD)、熱性けいれんやてんかんなどのけいれん性疾患、自律神経障害など幅広い小児神経疾患について、診察、診断と療育・リハビリテーション、心の相談などを行っています。

アレルギー外来

食物アレルギー(卵・牛乳・小麦粉・豆など)、アトピー性皮膚炎、気管支喘息などアレルギー疾患に関する相談、診断、治療を行っています。

内分泌外来

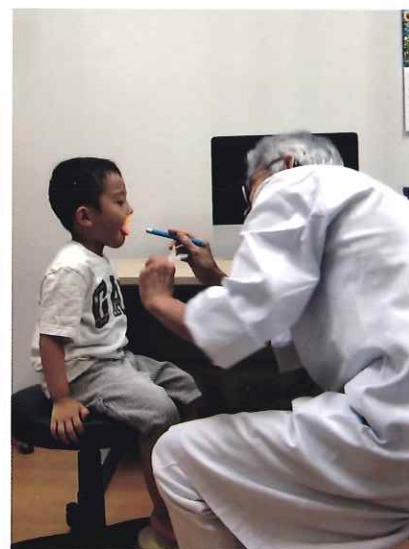
低身長の精密検査や成長ホルモン治療、また、甲状腺機能低下をはじめとしたその他の内分泌疾患、小児糖尿病の診断・治療を行っています。

健診・ 予防接種外来

健康診断外来は、乳児検診(4ヶ月・7ヶ月・10ヶ月・1歳)、障害者健診、一般健診を行っています。また、学校の二次健診として腎臓(検尿)、生活習慣病予防検診も行っています。予防接種外来は4種混合、2種混合、麻疹風疹、日本脳炎、インフルエンザ、水痘、流行性耳下腺炎(おたふく風邪)等も行っています。

一般外来

発熱、鼻水、咳、嘔吐、下痢、痛みなど急性期の症状に対応します。どなたでも利用できます。





リハビリテーション科

詳細はホームページをご確認ください

0952-98-2114

理学療法士(PT)、作業療法士(OT)、言語聴覚士(ST)、臨床心理士あわせ60名近く在籍しています。入所部門、外来部門における日々の訓練はもちろん、聴力・知能などの検査、心理士による心理相談、療育キャンプ、訪問リハビリテーション、リハビリ指導、児童発達支援事業など幅広く携わっています

理学療法科

子供たちの持つ能力を最大限に引き出す運動を基盤とした援助・指導をおこないます。さまざまな発達や障害に関する問題を保護者の方々とともに解決方法を考えていきます。

作業療法科

発達に応じた遊びや玩具を活用して、たとえ障害があっても家庭・学校・社会の中でいきいきと生活できることを願って食事や着替えなどの日常生活の諸動作や遊びを「作業」ととらえ、さまざまな援助や指導をおこないます。

言語療法科

「ことばの発達が遅い」「ことばがはっきりしない」「聞こえに不安がある」「読み書きが苦手」などことばに関する心配がある場合ご相談ください。保護者のご心配やニーズに合わせて、子ども達の個性を活かしたアドバイスや指導をおこないます。

心理療法科

当センターに外来通院あるいは入院中のお子さまやそのご家族を対象に、小児科医師との連携のもと、様々な方法で心理療法を行っています。また、お子さまの状態を把握したり、理解したりするために、多様な検査も実施しております。

子育てクラブ

発達障害のお子さまを持つご家族を対象にしたペアレント・トレーニング(子育てクラブ)も開催しています。「うちの子、大丈夫かしら・・・」「心配だけど誰に相談していいかわからない」といった悩みをお持ちであれば、お一人で悩まずにお気軽にご相談ください。

歯科

完全予約制 詳細はホームページをご確認ください

9時30分から11時30分 14時00分から16時30分

0952-98-2108

つらい治療をしないですむように、障害児(者)のための「予防」歯科治療をメインにおこなっています。安心して安全な歯科診療をおこないます。当センターの歯科に来院される方は自閉症の方が多く、安心した診療ができるよう「ブランケット」に包まれて(ネットリラックス法)の治療をおこないます。障害者の方で歯科治療に不安感が強い方は全身麻酔での治療も行っています。



歯医者さんには歯が痛くなってから行けばよいと思われていませんか?「予防」歯科治療とは、これまでの「痛くなったら治療する」という考え方とは異なり、「お口の健康を維持する」という考えです。むし歯になって歯を削られて痛い思いをすることも、口臭や歯の黄ばみを気にすることもなくなるのです。



はじめて歯科受診に来られた自閉症児に歯科は恐くないことを体験させようとバキュームを持ち上げた途端、診療台から飛び出してしまいました。しかし、ブランケット(ネット)を使って診療を続けることでリラックスした歯科診療を受けてもらうことができています。

※外来番号がない方は先に整形外来を受診していただきます

福祉

安心して安全な生活を過ごして頂けるように、細心の注意と最善のケアで日常生活の援助を行っています。職員間の情報共有で利用者様の環境をより良いものにしていきます。

医療型障害児入所施設 佐賀整肢学園 こども発達医療センター ひまわり園

医師をはじめ看護師、児童指導員、保育士、訓練士、心理士、生活支援員、MSWが

日常生活の指導、独立自活に必要な知識技能の習得のため、リハビリ・レクリエーション活動・コミュニケーション支援をおこない社会性と自立性を養います。

症状に応じて手術等もおこなう入所施設です。



症状に応じて医療管理下における食事・排泄・入浴などの介護および看護、身体機能の向上・日常生活能力の維持のための訓練、レクリエーション活動、コミュニケーション支援をおこないます。対象年齢は18歳未満です

療育の充実・見守り強化と共に適切な医療処置・看護の実施に努めています。また、支援と看護の両面より専門性を生かした個別的な支援計画を立案し、目標達成に向け日々支援を行っています。

人工呼吸器装着者や気管切開者など多様な方々の支援を行っています。超重症児者のための病棟として、日常生活が支障なく送れるよう質の高いサービスを提供しています

療養介護事業所 佐賀整肢学園 こども発達医療センター たんぽぽ園

利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、利用者の身体その他状況及びその置かれている環境に応じて、機能訓練、療養上の管理、看護、医学的管理の下、豊かで広がりのある療養生活を送っていただくための入所施設です。



- ・障害者総合支援法に基づき、18歳以上の方
- ・筋萎縮性側索硬化症(ALS)患者等気管切開を伴う人工呼吸器による呼吸管理を行っている方で、障害程度区分6の方

・筋ジストロフィー患者又は重症心身障害者の方で、障害程度区分5以上の方に医療の提供だけでなく、福祉サービスを提供し、より豊かで広がりのある療養生活を送っていただくための長期入所施設(事業)です。



ひまわり園、たんぽぽ園ともに医療的行為が常時必要な超重症児から多動児まで障害の程度もさまざま、また、入所目的や期間も異なる状況にあります。療育の充実・見守り強化と共に適切な医療処置・看護の実施に努めています。

医療型障害児入所施設・療養介護事業所について、くわしくはホームページをご覧ください。また、入所については当センター総合相談室までお問い合わせください。

児童発達支援センター
(福祉型)

佐賀整肢学園
こども発達医療センター

ひよこ教室

在宅の方で身体および知的に障害のある就学前の子どもたちが通所し、日常生活における基本的動作の支援、集団生活への適応のための保育や一人ひとりの障害の状態に合わせた専門教育をおこないます。就学前の発達に心配のあるお子さんを対象に、療育を行い、日々の生活や遊びの中で発達を促すと共に集団の経験を通して社会性を伸ばします。

- すみれクラス 母子、単独通園の混合クラス
 - ひまわりクラス 単独通園
- 対象:6歳までの就学前の重心・肢体・知的障害児
費用:利用者負担額、食費等の実費負担



生活介護事業

佐賀整肢学園
こども発達医療センター

わたぼうし

地域で生活されている、常時介護を必要とする障害者(主として重度の知的障害と肢体不自由を併せ持つ障害者)の方が日中通所して、入浴・排泄および食事の介護また、創作などの日中活動などに一人ひとりの状態に合わせた支援をおこないます。ご自宅から事業所までの送迎サービスを利用することが可能です。(要相談)

地域において生活をされている(主として重度の知的障害と重度の肢体不自由を併せ持つ障害者)の方が日中通所し、創作などの日中活動、入浴や送迎サービスをご利用いただけます。

一人ひとりの状態に合わせた支援をおこない、心地よい一日を過ごしていただくことを目指します。

- 対象:おおむね18歳以上の重症心身障害者
- 費用:利用者負担額、食費等の実費負担があります。



放課後等

デイサービス

クローバー

就学児童(小学校~高校生)の障害のある子供達を対象としています。放課後の利用と夏休みなどの休業日、障害児が生活能力向上のために必要な訓練を行い、社会との交流を図ることができるよう、身体・精神・環境を考慮し専門的な療育をおこないます。

年齢や発達段階に応じて、活動内容を考慮し、グループ指導・個別支援を組み合わせさせていただきます個別療育活動・運動療育活動・言語療育活動・音楽療育活動・身辺自立活動・絵画制作活動等

放課後をお友達や支援員と安心して楽しく遊んだり、学んだりする場所を提供いたします。

※一部学校へのお迎えもおこないます。成長・発達を見つめ、学齢期にあった支援をおこないます

- 平 日 月~金 14:30-19:00(祝祭日・お盆・年末年始を除く)
- 長期休業中 月~金 8:30-19:00(祝祭日・お盆・年末年始を除く)



短期入所事業・日中一時支援事業 (ショートステイ)

家庭の用事・病気などにより、在宅での介護が難しい場合に一時的もしくは数日間施設で日中活動・夜間サービスをおこないます。基本的には入所部と一緒に活動をおこないます。(休日入所部同様、自由に過ごしていただけます。)

主に肢体不自由児や重症心身障害児(者)(治療を目的とした入院ではありませんので健康状態の安定された方が対象になります)

利用には当センターとの契約が必要です。事前説明・見学・事前登録手続きなどは総合相談室へお問い合わせください。

- 利用の際は日常生活用品・薬(必要な方)・受給者証をご持参ください
- 宿泊される場合は紛失防止のため、持参物の確認を一緒におこないます(持参物には記名をお願いします)
- サービスには定員があります。やむをえずお断りする場合がありますのでご了承ください。

※詳しくは当センター総合相談室にてご説明します。お気軽にお問い合わせください

総合相談室

利用者が望む生活にあわせ、その人らしいサービスの使い方などを提案し利用をお手伝いします。

相談室

地域サービス係

さまざまな障害がある乳幼児から成人を対象として、当センター独自サービス及び行政からの委託や指定を受け下記相談支援を実施しています。また、地域の各機関との連携強化を図っています。

1 指定特定相談支援・指定障害児相談支援事業

地域で生活する障害児(者)の自立を目指し、抱える課題の解決や適切なサービス利用に向けてケアマネジメントの手法によるサービス等利用計画を作成します。また、適宜各種サービス等の利用状況の検証や計画の見直しを行います。

2 佐賀県障害児等療育支援事業

主に児童に関する療育相談として訪問・外来・施設指導の各事業を当センター相談員・訓練士及び医師が実施しています。

〈訪問療育指導事業〉

住宅・補装具に関する相談や、子育て・療育に関する相談に対し、地域や家庭に出向き、支援をおこないます。

〈外来療育指導事業〉

障害児や重症心身障害者を対象とし、面談により各種相談・支援を実施しています。

〈施設職員等に対する療育技術指導事業〉〈療育機関に対する支援事業〉

地域の保育園、幼稚園、学校等で障害児の受け入れが進むなか、障害のある子への対応・理解は不可欠となっています。当センターの各専門職の協力を得て保育園・幼稚園・学校などからの相談・技術支援をおこなっています。



3 医療相談・総合相談

入院時には、医療事務・外来スタッフと連携し、医療制度に関する相談(具体的には自立支援医療や特定疾患、障害年金申請などの手続きなど)について支援をおこないます。

退院時には、患者様の在宅での動作確認や福祉用具の検討、在宅サービスの調整などを行っています。

また、当法人の各種サービスを安心してご利用していただくために、当センターの相談員が必要な相談支援・連絡調整を行います。

4 居宅介護支援事業(介護保険)

支援や介護の必要な高齢者が介護保険サービスを利用するために必要となるケアプランをケアマネージャーが作成し相談に応じます。



5 訪問リハビリテーション事業(介護保険)

介護保険による訪問リハビリテーション事業をおこなっています。地域の高齢者に対して、訪問によるリハビリ指導などを作業療法士等が実施しています。

行政および他医療機関との調整、各種制度のご案内・契約時のご説明をいたします。

在宅支援に向けての各種取り組みをおこなっています。

各事業については、総合相談室へお気軽にお問い合わせください

お問い合わせ 月曜～金曜 8:30～17:30

TEL: 0952-98-2211(代)

FAX: 0952-98-3391(代)

メール:saseishi@po.saganet.ne.jp

<http://www.saganet.ne.jp/saseishi/>

相談室について、詳しくはホームページをご覧ください

年間行事

Annual event

4月

開園記念祭・さくら会



開園記念祭・さくら会



体育大会

5月

体育大会
総合避難訓練

6月

園外活動

7月

七夕会
園外活動



七夕会



花火大会

8月

花火大会
夏季体験学習 キャンプ



クリスマス



もちつき大会

9月

非常食を食べよう会
園外活動

10月

あきまつり
総合避難訓練 園外活動



あきまつり



成人・還暦を祝う会

11月

ティーボール大会参加
七五三お祝い会

12月

もちつき大会
クリスマス会



節分



1月

成人・還暦を祝う会



非常食を食べよう会

2月

節分



総合避難訓練

3月

ひよこ教室 卒園式
病棟会



託児所

ひよこ教室

北棟

中棟

県立
金立特別支援学校

西棟

南訓練棟
(南J八棟)

整形

市道

エリアマップ：航空図

Saga Medical and Welfare Center for the challenged

Area Guide.



県道

東棟

さくら館・総合受付

小児科・管理棟

外科

職員宿舎

職員宿舎

託児所

・児童発達支援センターひよこ教室
2階 訓練室

東棟

- ・生活介護事業わたぼうし
- ・放課後児童デイ
- ・訓練室

北棟(北リハ棟)
リハビリテーション

さくら館(正面玄関)

- ・総合受付
- ・医療事務 2階 歯科室
- 3階 訓練室

総合受付

中棟

- 1階 第1療育課(病棟)
- 2階 第2療育課(病棟)
- 3階 第3療育課(病棟)

診療棟 整形外科
中央材料室・手術室

西棟

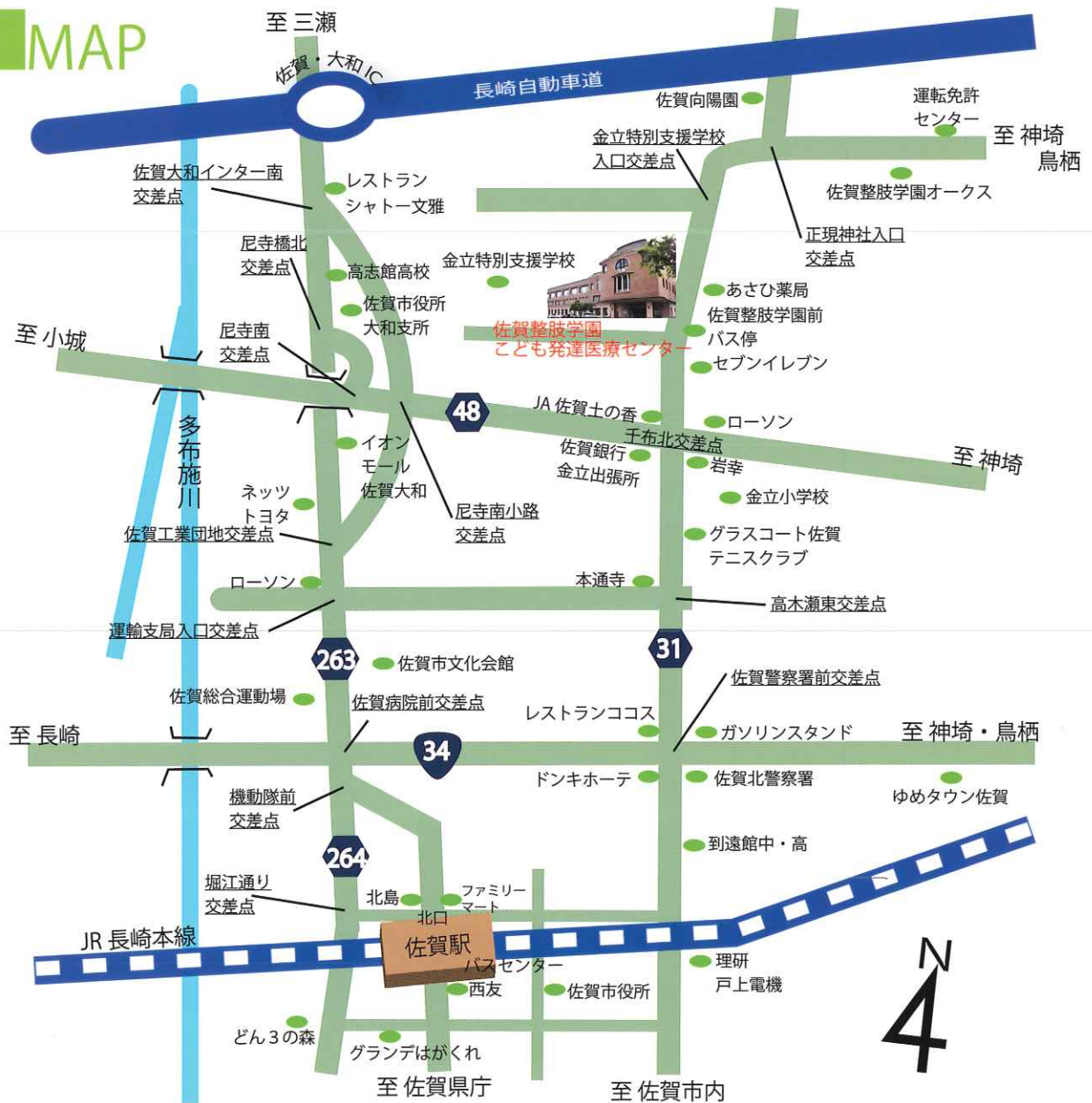
・西棟療育課(病棟)

南訓練棟(南リハ棟)
リハビリテーション

小児科 管理棟

- ・小児科 ・レントゲン室
- ・児童精神科 ・アレルギー外来
- 2階 法人事務局・総務課・総合相談室

案内図 MAP



交通のご案内 ACCESS

佐賀駅よりお車でお越しの場合

佐賀駅北口より西に進む
堀江通り交差点を右折する（264号線）
運輸支局入口交差点を右折する（ローソンが目印）
高木瀬東交差点を左折する（お寺が目印）
千布北交差点を直進 約400m先 左側

高速道路（お車）でお越しの場合

佐賀大和インター 佐賀市街方面へ
佐賀大和インター南交差点を左折する
尼寺南小路交差点を左折する
千布北交差点を左折する（ローソンが目印）
千布北交差点から 約400m先 左側

バスでお越しの場合（佐賀駅バスセンターから）

佐賀駅バスセンターよりバスで20分 バスは市営バス（金立線）で系統番号30番へ



社会福祉法人 佐賀整肢学園

佐賀整肢学園こども発達医療センター

〒849-0906 佐賀県佐賀市金立町金立2215-27

TEL:0952-98-2211(代) FAX:0952-98-3391

● Eメールアドレス saseishi@po.saganet.ne.jp

● ホームページアドレス <http://www.saganet.ne.jp/saseishi/center>



<http://www.saganet.ne.jp/saseishi/center/>